



和歌山大学 食農総合研究教育センター

—— 和歌山圏域のテロワールを活かす食農価値共創拠点へ ——



食農総合研究教育センター長
藤田 武弘

食農総合研究教育センター長あいさつ

本センターは、旧食農総合研究所における取り組みを土台としながら、本学が地域連携機能の一元化と強化を目指して設置した「和歌山大学紀伊半島価値共創基幹」の一つの柱を担う組織として新たなスタートを切ることになりました。本センターでは、「都市農村共生・地域資源活用・ICT活用」の3つの研究部門を核として、食と農林水産業の分野にかかわる学術研究の発展はもとより、地域社会と大学との連携を強化し、培われた教育研究成果を地域課題解決に役立てることができるよう努めて参りたいと考えております。引き続きのご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

センターについて

< 目的 >

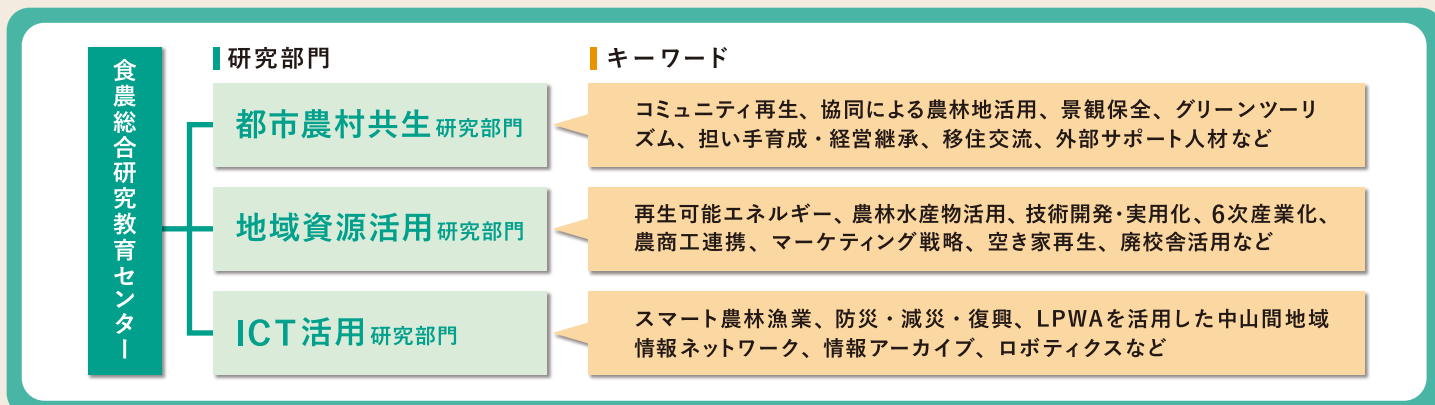
紀伊半島を中心に、食と農林水産業の分野に関わる研究活動を通じて、学術研究の発展と地域社会との連携や地域貢献機能の強化に資する。

< 主なる業務 >

- ① 食農の分野にかかわる研究・調査
- ② 学術研究発展のための学内研究交流
- ③ 学内外ネットワークの構築による競争的資金の獲得及び受託・共同研究
- ④ 学術情報の集積と発信・交流
- ⑤ 多様な学内外における教育機会の提供と寄与
- ⑥ 地方創生と地域活性化への貢献
- ⑦ その他、センターの目的達成に必要な事項に関すること

センターの役割

- ① 食品・農産物の高付加価値化、農林漁業と食、健康、環境に関する研究を推進
- ② 3つの研究部門の力を融合し、地域課題の解決を目指した研究プロジェクトを実施



③ 研究成果を活用した「学び(教育活動・講義)」の提供

わかやま未来学・わかやまを学ぶ・食農学
(教養教育科目)

食と農のこれからを考える
(JAわかやま寄付講義)

地域づくりの理論と実践
(江頭ホスピタリティ事業振興財団寄付講義)

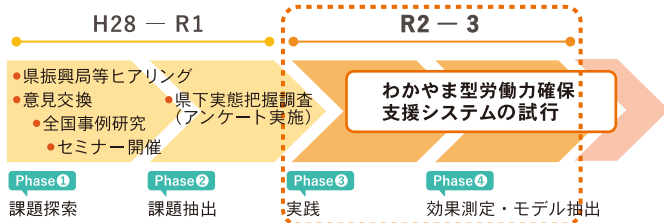
各学部講義

食料・農業・農村の課題解決を促進する

—— 地域と共同する実践型研究プロジェクトの推進 ——

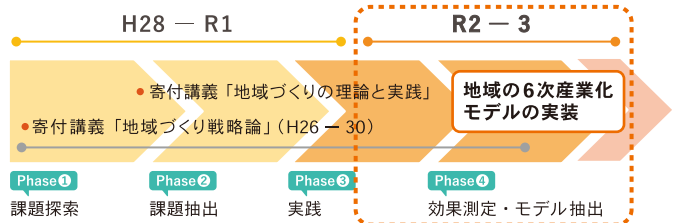
わかやま型 果樹産地労働力確保支援システム

(「多品目少量生産」を活かし、県内の多様な労働力を活用するシステムの構築)



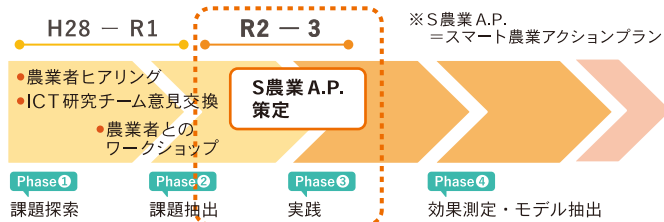
「地域の6次産業化」社会実装モデル

(「学び」を通じ、地域資源を活かして地域の営みを支える仕組みづくり)



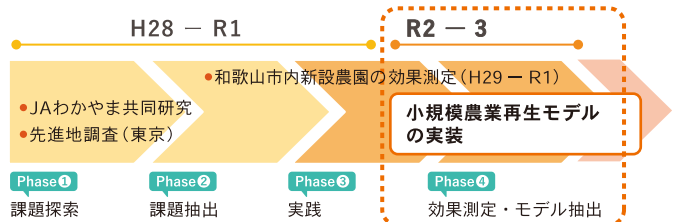
地域主導型 果樹産地スマート農業アクションプラン策定

(ICT導入が遅れている果樹産地におけるスマート農業導入・検証)

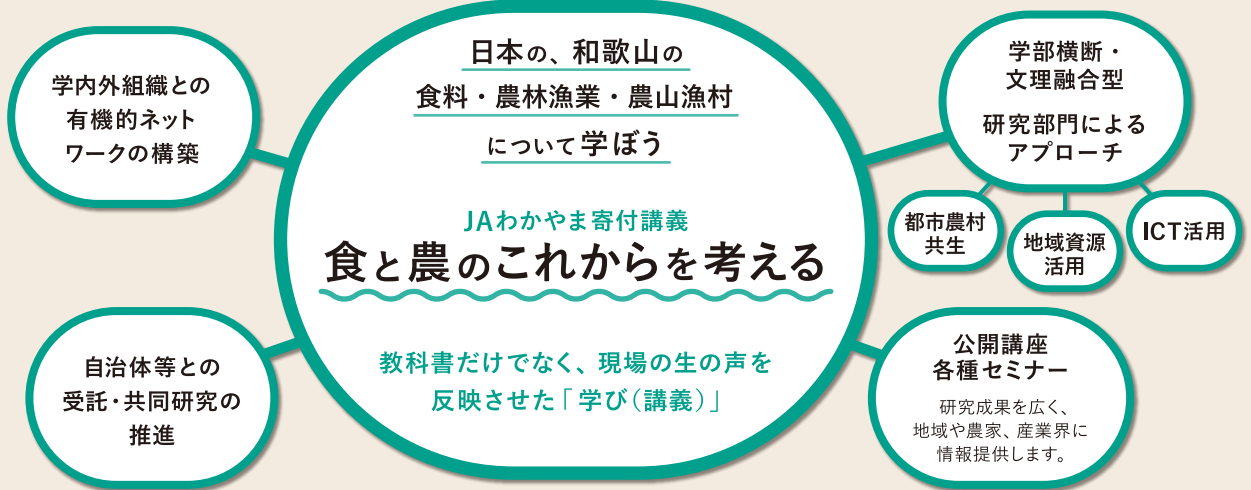


農業体験農園方式による地域農業再生モデル

(農業体験農園方式の導入による中核都市小規模農業再生の仕組みづくり)



「食」「農業」「地域活性化」を幅広く学ぶ



わかやま未来学・わかやまを学ぶ

本講義のなかでは、

- 和歌山県の特産物は
- 和歌山県の農業の特徴は
- 和歌山県の農村の活性化事例は

和歌山県における多様な食と農について基本的な状況を学びます。

食農学

わかやま未来学などを踏まえて

- 食料を取り巻く世界的情勢
- 日本の農業・農村の状況
- 全国的な農山漁村活性化の事例

世界と日本の食料・農業・農村について幅広く学びます。

地域づくりの理論と実践

全国的にも地域づくりで有名な「秋津野ガルテン」(田辺市)で地域活性化に取り組む現場の方々による「教科書ではわからない、実践者による講義」

大学生だけでなく、社会人の方々とともに学びます。

各学部での講義

「食と農」は幅広い分野です。各学部においても、関連する講義が提供されています。

- 教育学部: 植物分子育種学など
- 経済学部: 農業政策など
- システム工学部: 地域データ活用法など
- 観光学部: 観光と都市農村交流など

和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹 食農総合研究教育センター

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

TEL : 073-457-7126

URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/food-agri/>

